



「クオリティ・アワード 2019」 「ものづくりの達人たち」大賞

藤田 晃弘 さん

FUJITA AKIHIRO

丸井織物株式会社（石川県鹿島郡）

テキスタイル開発部 取締役兼テキスタイル開発部部长

「ものづくり×IT」で繊維業界にイノベーションを創造する

合繊織物の商品開発におけるテキスタイルの企画、設計および試作が完成するまでに必要な、織物設計技術、製織技能、品質・物性評価技能に卓越。合繊の機能性と感性を高め、今までにない優れたテキスタイルの数々を製品化まで導き、後進の指導育成にも務めています。

繊維の領域を超えて繊維を極める 国内トップシェアの織物メーカー

創業から80余年もの歴史を刻む、合繊織物の生産量において国内トップシェアを誇るテキスタイルメーカー。最先端の技術で生み出した機能性や快適性に優れたハイスペックな織物素材は、国内外の一流アスリートも着用するスポーツウェアからカジュアルウェアまで、幅広く使用されています。衣料用にとどまらず、自動車のエアバッグや飲料フィルターのティーバッグ、炭素素材、養生テープなど、産業資材用織物の開発も多彩。変化に強いものづくりを実現しています。

また、“ものづくりとITの融合”を掲げ約1,200台もの最新鋭ジェット織機をITでコントロールし、生産を効率化。2016年に自社ブランド「NOTO QUALITY」を展開し、翌年には織と染の一貫体制を整え、繊維業界にイノベーションを巻き起こし続けています。

多様化するニーズに合わせて 北陸から最高技術を世界に届ける

時代を先読みした製品開発で世界から注目を浴びる一方で、近年はニーズが多様化し、より大きな変化を感じると語る藤田さん。お客様のイメージを形にするには、糸の組み合わせや密度、機能、組織の調和を考えねばならず、それだけでも無限の可能性があります。何度も試作を重ねつつ、コストとのバランスを考えるのも重要な課題。経験をどれだけ積んでもものづくりの難しさに悩まされることも多いが、お客様の期待を超えた素材を生み出し、世に送り出すことが最大のやりがい。完成品を使った製品が店頭に並び、それを自分で購入するときの喜びは、かけがえのないものとなっています。

今後も北陸産地から、海外に負けない高機能な素材を開発し続けることが大きな目標。革新的かつユニークなテキスタイルで、これからも世界を驚かせてくれることでしょう。



有名スポーツ選手も着用する藤田さんが設計した軽量×高通気×吸汗速乾の生地